

6月5日（月）

神が語られた

聖書朗読 ヘブル1:1~4

神は仰せられた。「光があれば。」すると光があった。

創世記1:3

私たちが神様が語った事を考える時、神様がこの世界を創造された時のみことばを頭に浮かべたりします。しかし、ヘブル書は神様が語られた他の場面も思い出させてくれます。旧約聖書の中でアブラハムやモーセやサムエルや預言者たちに、さまざまな時にその場面に応じて語られました。そして、何度も何度も神様の言葉はなおざりにされました。新約聖書のユダヤ人の時代では、預言者たちは崇められましたが、先祖たちは預言者のメッセージに心を向ける事はありませんでした。

今日私たちには神様が語られた、より偉大なメッセージを受けています。ヘブル書でイエス様をどのように表現しているかを見てください。イエス様は神の子どもです、イエス様は相続人であり、全てのものの創造主です。神様の栄光を輝かせる方であり、神様そのものでもあり、罪を聖めることのできる方です。また神の右に座しておられる方であり、全てのなすべきことを完成された方です。

ウィリアム・ネイルはヘブル書をこう言っています。「両手に『勇気を携えて』荒れ狂った未知の未来へ進み行く冒険へと我々を招いている。まだ見ることのない神様に信頼した古代の族長たちのように。」神様は私たちがメッセージを受けるだけでなく、墮落した世界へのメッセンジャーとなれるように招いておられます。本日の聖書朗読の箇所がイエス様をどのように表現しているか時間をかけて読んでください。あなたのこれからの人生で新しく出会う方々に神様のなさったことを伝える者となれますように祈ります。

讃美歌 II173

祈り 親愛なる主よ。今日あなたのひとり子をあがめます！変わる事のない力と私たちの罪のための恵み深い清めを感謝いたします。私たちのために執成してください神の右に座しておられる方を賛美します。イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェス・ピーターソン
テキサス州 ラボック

今日の力

2023年6月5日～6月11日

翻訳 ハンコック・真由美
(コールド・スプリング キリストの教会)

野口 恵美子
岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月6日（火）

運 転 と 歩 き

聖書朗読 ヘブル8：6～13

しかし今、キリストはさらにすぐれた務めを得られました。それは彼が、さらにすぐれた約束に基づいて制定された、さらにすぐれた契約の仲介者であるからです。もしあの初めの契約が欠けのないものであったなら、後のものが必要になる余地はなかったでしょう。
ヘブル8：6～7

私は、田舎に住んでいます。どの家の庭も広く、それぞれの家と家の間には牧草や木々があります。車でその道を通ると、高く伸びた草が目に入り他は特に目に留めることもありません。しかし、歩いてその道を通ると、車でさっと通った時には見逃してしまった細かい点に気がつきます。

私はよく1マイル（約1, 6km）ほど散歩します。そうすると、草に隠れて小さな黄色や紫色や白の花が咲いているのが見えます。日陰になっている凹んだ地面や檜の木には苔が生えていることに気がつきました。牧草や松の木の香りが漂っています。牛やカエルやコオロギやたくさんの小鳥の鳴き声が聞こえます。私は風を感じ、自然の匂いとはどんなものかを再び思い出させてくれる新鮮な香りを身にまといます。

聖書を読む時、ともすると何章も一度に「自動車を運転」するように早く読んでしまうことがあります。歩くようにゆっくりと聖書を読むことは、毎日なん節かを選んで読んで読んで瞑想することに似ています。文脈の中での意味を見て、日常生活にどう応用するか考えます。全体の景色を見ることも一部の詳細をよく見ることも大事なことです。そのどちらか一つを理解すると、もう一つをよりよく理解することができるのです。

讃美歌 II80

祈 り 主よ。集中できない心でみ前に来ています。スピードを落としてあなたのみことばを吸い込むなら、私たちは変えられることを知っています。心を開いてみことばを読むことができますように。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

アマンダ・バイス

アラバマ州 レインボウシティ

6月7日（水）

耐 え 忍 ぶ

聖書朗読 ヘブル11

しかし、良い地に落ちるとは、こういう人たちのことです。正しい、良い心でみことばを聞くと、それをしっかりと守り、よく耐えて、実を結ばせるのです。

ルカ：8：15

ヘブル書の著者は、ヘブル人にどんな大変な状況の中でも忍耐する大切さを呼びかけています。彼は、ヘブル人があらゆる困難の中にいて、失望の真っ只中で、希望を失っていることを知っていました。そのような状況の中で、著者は、その困難を克服した信仰のヒーローたちの名前を挙げて、ヘブル人が困難な状況を乗り越えるように勧めています。

忍耐すると言うことはかなり辛いものです。忍耐という言葉で思い浮かぶのは、勝利より労苦という言葉です。しかし、ヘブル書に出て来るヒーローに共通して言えることは、大胆であり、冒険的であり、勇気があることです。ヒーローたちはどんなにとてつもないことを神様がして下さったかを知っていました。彼らは、ヒーローたちが主を通して大いなることを成し遂げたことを知っていました。彼らは信仰によりまだ目に見えない事柄を見ることができました。つまり、将来おこることを確信していました。そのまだ目に見えない事柄を確信しているがゆえに、どんな危険を冒すことを厭わず、力強く前に突き進むことができました。そしてついに彼らは不可能を可能にしました。彼らは目に見えないことを見、永遠に残るものを手に入れることができたのです。

私たちは、このような出来事を無視することができるでしょうか。できませんよね。ならば忍耐することを選ぶうではありませんか。

讃美歌 296

祈 り 私たちのお父様、多くの信仰者たちは、重い任務や驚くべき試練を大胆な決断や信仰によって乗り越えて来ました。どうぞ、主よ、あなたによって試練を乗り越えられる力をお与え下さい。イエス様の名前によって。アーメン。

マイク・サンダーズ

アイダホ州 ボイス

6月8日(木)

迅速な対応

聖書箇所 ヘブル11

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

ヘブル 11:1

私たちの時代には、自分が望むことをすぐに手に入れること願う傾向があります。例えば、私たちは、仕事においても、翌日、その日のうちに、または、発注されたら、その一時間後に仕事をこなしていく迅速な対応が期待されているのです。

それと同時に、私たちも神様に迅速な対応を望んではないのでしょうか。勿論、聖書の中にも主が即座に対応されたことを何度も読んだことがあるかと思います。

例えば、創世記22章13節には、「アブラハムが目を上げて見ると、見よ、角をやぶにひっかけている一頭の雄羊がいた。アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを自分の子の代わりに、全焼のいけにえとしてささげた。」と書かれています。これは、神様が迅速な対応をされた一例です。ダニエル3章では、シャデラク、メシヤク、アベデ・ネゴは、王の命令である金の像を拝むことを拒んだため、火の燃える炉の中に投げ込まれました。しかし、神様はその時も、彼らを救うために迅速な対応をされました。

一方、ヘブル11章では、神様の迅速な対応を経験されなかった人々が描かれています。このような信仰のヒーローたちのように、私たちが同じような忍耐を経験するときに、私たちの信仰は強められるのです。私たちは、神様は主なる主であることを覚えておかなければなりません。神様が全てをご支配していらっしゃるのです。私たちは、主のお導きと神様の時があることを覚えましょう。また、主に全き信頼を置いて歩んで行きましょう。私たちの主にある信頼が私たちの信仰の基であり、私たちの信仰をスタートさせて下さったお方である神様が最後に全てを完了して下さることを覚えましょう。そして私たちの信仰が益々成長することを願いましょう。

讃美歌 感謝します

祈り 愛する主よ、私たちのあらゆる時に神様でいてくださりありがとうございます。あなたには出来ないことなどないことを私たちが覚えておくことができますように。イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

カリフォルニア州 エスコンディッド
ブルーデンス・C・ウィリアムズ

6月9日(金)

御手のうちで安らぐ

聖書朗読 ヤコブの手紙 1:1~12

あなたがわたしに下さっているあなたの御名の中に、彼らを保ってください。

ヨハネ 17:11

私は絶叫系のジェットコースターが大好きです。怖ければ怖いほど良いです！ジェットコースターというのは、ちゃんと管理されている大混乱の体験です。シートに乗り込みます。安全のためにシートベルトを装着します。熱狂的な激しい乗り心地を期待して待ち構えます。ジェットコースターが軌道を急上昇・急降下する時、歓声や絶叫とともに顔が引きつります。でも、ジェットコースターに乗る人たちは、一つの有無を言わさぬ信念を持っています。つまり、自分たちが乗っているジェットコースターは軌道を外れることはないだろうと信頼しているのです。

キリスト者の人生もジェットコースターのようなものかもしれません。勝利と試練の連続の人生です。絶望しそうなになる苦難の時もあれば、天国にいるのではないかと感じられるような喜びの時もあります。人生のチャレンジは、私たちの主はいつも支配しておられるのだと知りつつ、信仰を持ち続けることです。

神様の御言葉によって、あなたを変えていただきましょう。御言葉には力があります。神様はすべての物事を支配していらっしゃる。主に信頼しましょう。主はいつでも、あなたを正しい軌道上に保ってくださることを、しっかりと知っていきましょう。

聖歌 514

祈り お父様、私たちがあなたを信じられない時にも、私たちを愛してください。ありがとうございます。あなたに従おうとする時、あなたが私たちを優しく導いてくださることを感謝します。私たちの思い煩いをいっさい、あなたにゆだねることができますように。イエスさまのお名前によって。アーメン。

アラバマ州 ハーヴェスト
マイケル A・ブラウン



6月10日(土)

お約束どおり

聖書朗読 ルカ 2:25~39

ちょうどこのとき、彼女もそこにいて、神に感謝をささげ、そして、エルサレムの贖いを待ち望んでいるすべての人々に、この幼子のことを語った。

ルカ 2:38

アンナもシメオンも、すぐれた特性を持っていました。彼らは、神様がこれからなさろうとしていることを待ち望んでいました。起きている間、ほとんどの時間、宮を離れず、御言葉が読まれたり語られたりするのを聞いたり、讃美歌を聞いたり、礼拝しようとして宮に入って来た人たちと共にいました。幼子イエス様を見て、この方こそ長い間待ち望まれていた救い主であると分かりました。そして、神様をほめたたえて、真理を語りました。

二人はなぜ諦めなかったのでしょうか。加齢とともに、彼らも朝起きる時、おそらく節々がきしんだり、腕や脚が痛んだりしたことでしょう。自分ではどうにもできない、身体上の問題がだんだん深刻になっていることに気付いていたかもしれません。それでも、シメオンとアンナは宮に上りました。ヨセフとマリアが幼子イエス様を連れて、ユダヤの律法にしたがって、いけにえを献げるために宮に入って来た時に、シメオンとアンナはそこに居合わせました。二人が宮にいたために、シメオンは幼子イエス様を腕に抱くことができました。アンナは神の御子イエス様の傍に立って、神様に感謝をささげることができました。何と恵まれた経験だったでしょう！

シメオンとアンナはその場にいたかったのです。彼らは、ひとりのみどりごがイスラエルの救いのために生まれる（イザヤ 9:6~7）という古くからの約束を信じていました。彼らは悲しみも、来たるべき喜びも知っていました。聖霊が彼らの上におられ、御言葉を知っていたからです。

讃美歌 99

祈り 創造主なる主よ、私たちの目を開けて、置かれている場所で、あなたのご臨在を知ることができるようにしてください。私たちがよく知っている、あなたのお約束を思い出させてください。そのことについて語る機会をお与えください。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

編集者

エミリー Y・レムリー

6月11日(日)

何という喜び！

聖書朗読 詩篇 119:9~16

あなたのみことばは わたしの足のともしび、私の道の光です。

詩篇 119:105

交わりグループの中のある家族が、子どもたちによる詩の朗読会に招待してくれました。4歳から18歳までの子どもたちが披露した暗記の素晴らしさに感動しました。『ケイシー打席に立つ 1888年に歌われた共和国のバラード』（訳注：アーネスト・セア Earnest Thayer 作の野球詩）や、『ポール・リビアの騎行』（訳注：ヘンリー・ワズワース・ロングフェロー Henry Wadsworth Longfellow の代表作の一つ）のような長文詩の暗唱を聞くのは素晴らしい経験でした。

毎週のように、私たちの脳に関する新しい発見があるようです。私たちの脳は、かつて予言されたよりも、はるかに長い間、成長と発達を継続させるそうです。そのためには、ゲームをしたり、詩や聖句を暗唱したり、オンライン講座や実際の旅行などによって新しい経験をしたりして、脳の運動が必要です。このような研究結果は、脳の活性化が大事であるということです。勿論、そうしなければと思わされますし、そうすることにより脳が成長することは、励まされますが、よく言われていることで、目新しくはありません。

聖書においても、詩篇の作者は、神様のみことば、教え、命令を絶えず学ぶようにと励ましています。あなたのお好きな詩篇の一節を声に出して読むことは、大変有意義です。そうすることによって、みことばをあなたの頭に固定することができます。一番良いのは、真理を黙想しつつ、何度も何度も声に出すことです。

暗唱会で私たちが見た子どもたちは、彼らが覚えた詩を忘れないでしょう。子どもたちの努力のお蔭で、神様のみことばを私たちの頭脳に注ぎ続けなければならないと教えられました。

ガラヤにて みかてを わけたまいし わが主よ

今も生けることばを 与えたまえ ゆたかに

メアリー A・ラスベリー

（訳注：讃美歌 187 番 2 節）

讃美歌

II 10

祈り

父なる神様、私たちの脳を活性化させて、知っている聖句を思い出し、唱えることができるようにしてください。御言葉によってキリストを見続けることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。



Mary Artemisia Lathbury

(1841-1913)

アメリカの詩人・讃美歌作家

編集者

スティーブン S・レムリー